

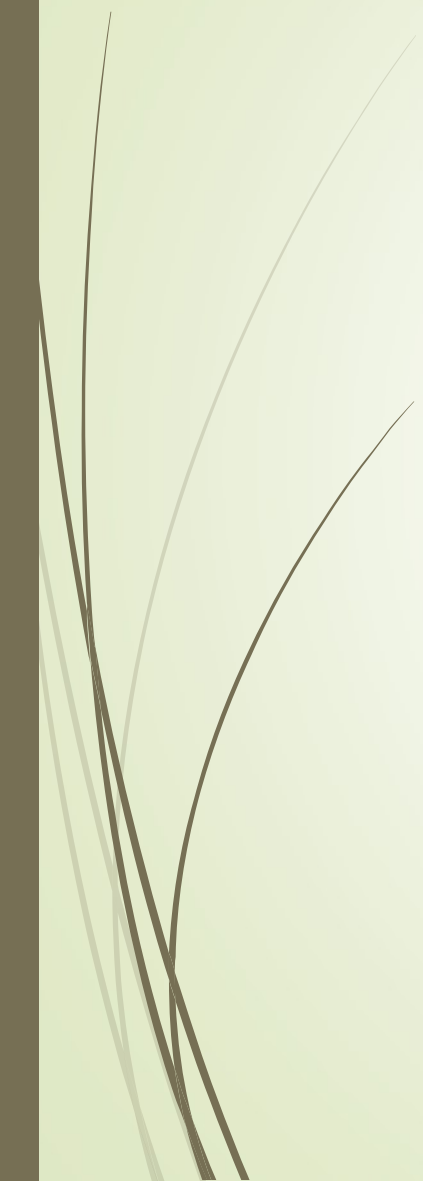


市民風車とともに 地元「あきた」とともに

株式会社市民風力発電 原田美菜子
〒010-0953 秋田市飯島字砂田107-4



話題

- 自己紹介
 - 市民風車との出会い
 - 秋田県内での取り組み
 - 市民風車 天風丸
 - 市民風車 ぽんぽこ
- 



自己紹介

～市民風車との出会い

自己紹介

1986



チェルノブイリ原発事故

1970 誕生

1975

1986

1987

女子高校生時代

結婚

暗黒時代

2000 秋田に帰る

オイルショック



1990

阪神・淡路大震災



1995

自己紹介

秋田の海・山・人に癒される

2000年頃

大小さまざまなボランティア活動があり

年代や職業を超えた人とのつながり、ゴールとともに味わう事のすばらしさを学ぶ



イベント、セミナー
、上映会、ECOツ
ーリズム・・・etc



分野にとらわれず活動の支援がしてみたいと思い、市民活動の中間支援をするNPOで働いた

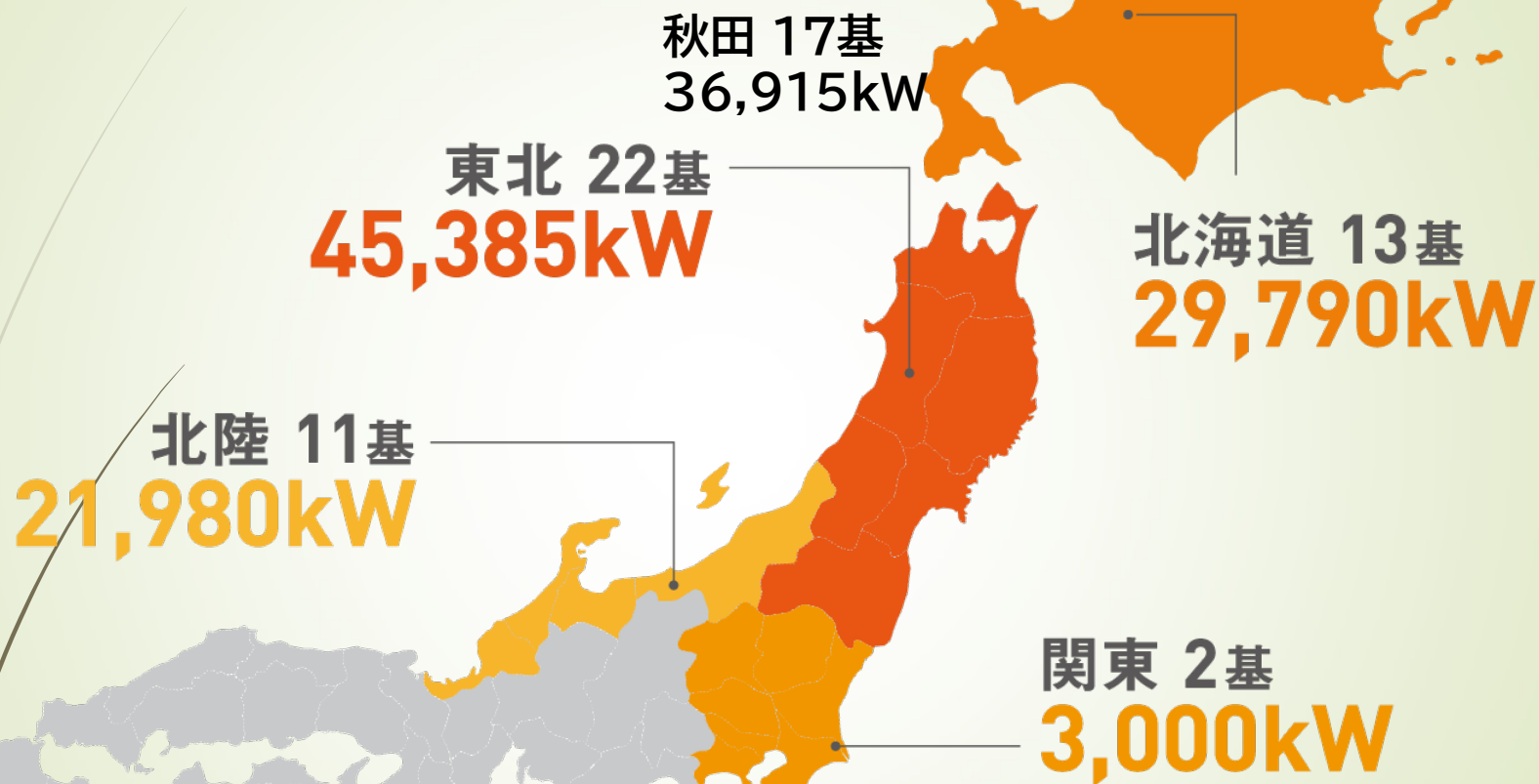
そこに北海道グリーンファンドのスタッフから問い合わせがあり、対応をする。
これがきっかけとなり、秋田初の市民風車誕生に立ち会うことができた





秋田県内での取り組み

全国の市民風車たち



株式会社市民風力発電が手掛けた風車

総基数

37基

市民風車とは



風を資源に自然エネルギーをつくり
市民出資を通じて「未来の環境」
と「経済」を地域へ還元するしくみ = 市民風車

⇒地域循環型経済をめざす

『市民による市民のための発電所』づくり

目指すのは…

「地球温暖化のない未来」

「安全なエネルギー社会」

「奪い合わないエネルギーづくり」

HAPPYで
あったかい

秋田県内の取り組み

- ★秋田初の市民風車・天風丸は2003年に稼働開始
- ★市民出資によって建てられた「市民風車」は4基
- ★その他に13基の風車を建設しました

八峰町 1基

潟上市 1基

秋田市 5基

由利本荘市 5基

にかほ市 5基



天風丸とぽんぽこ 位置図



市民風車 天風丸 (2003年)

市民風車のPR

ちらし、資料を印刷しまくる

出資参加を呼び掛ける

秋田を中心に全国から参加

地元の窓口に

風車や出資に関する問い合わせに答える
秋田県、天王町をはじめ自治体窓口を訪問する
→説明会の準備やちらし設置・配布のお願いなど
地元の方とお話する 議員さん、漁師さん
工事関係者の方々



RePower MD60/1500kW

初めてのことばかり！

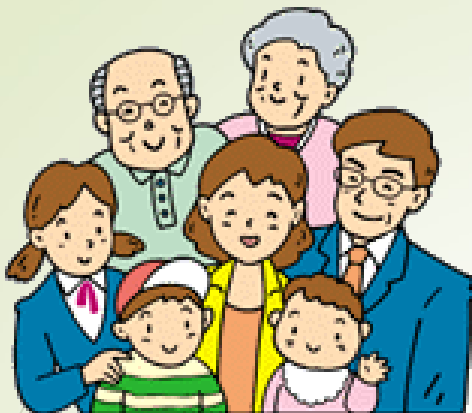
市民出資「天風丸」の場合

市民風車 天風丸



2003年より稼働

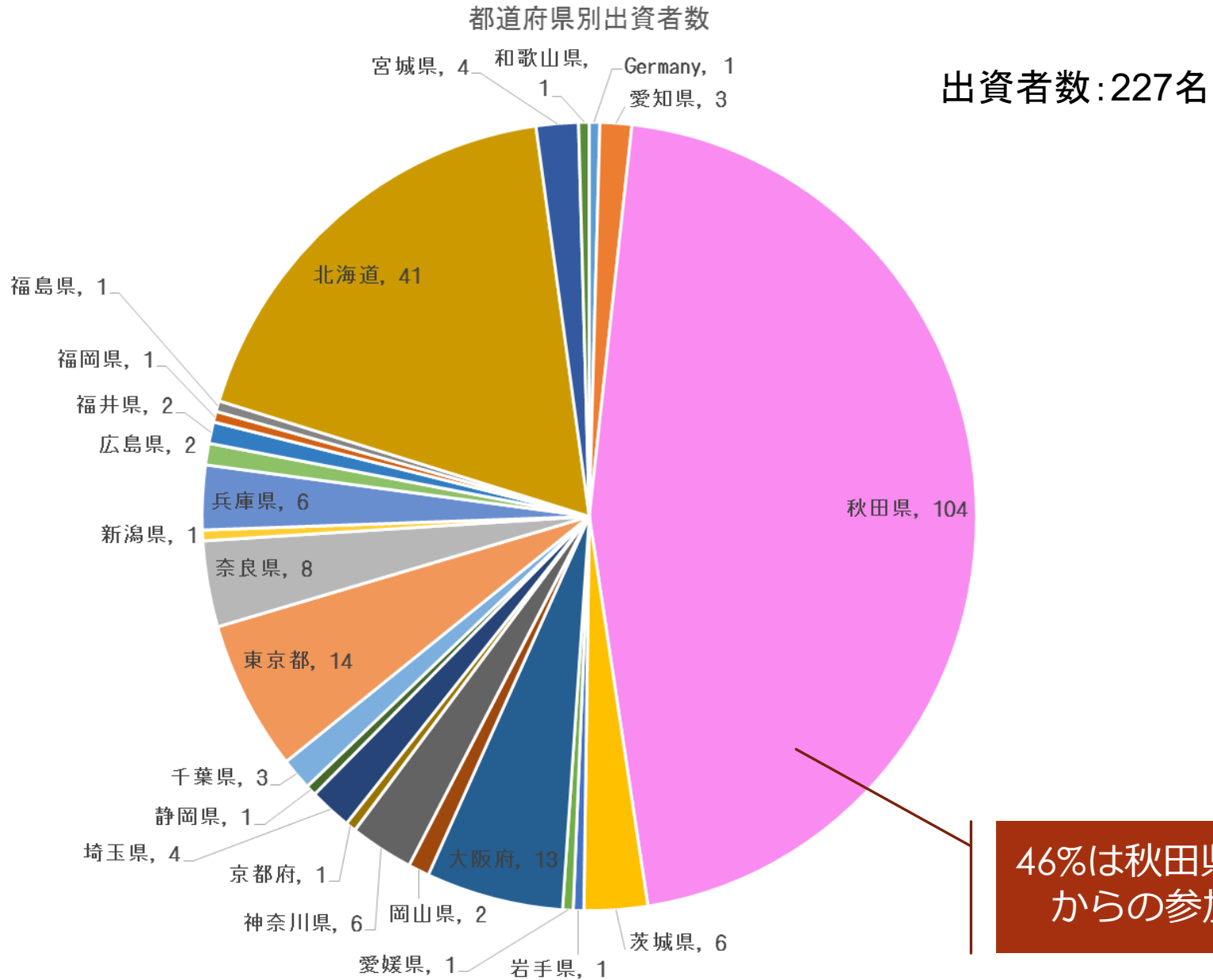




募集結果は・・・

- ➡ 秋田枠 1口50万、5万の2種類
→6,760万円もの出資が寄せられました
- ➡ 全国枠 1口10万円
→結果、約4,200万円が寄せられました
- ➡ 合計→総額約1億1千万円が秋田初の市民風車の建設費用として寄せられました
- ➡ 2003年～15年の契約期間で計画通りの返済と分配が完了！

都道府県別 市民風車「天風丸」への出資者数(2003年)



市民風車・ぽんぽこ（2020年）

電力申し込み、事業認定

自治体や地元町内会の合意形成


契約のご説明や許認可手続き

環境アセスメント、説明会

地元の窓口に

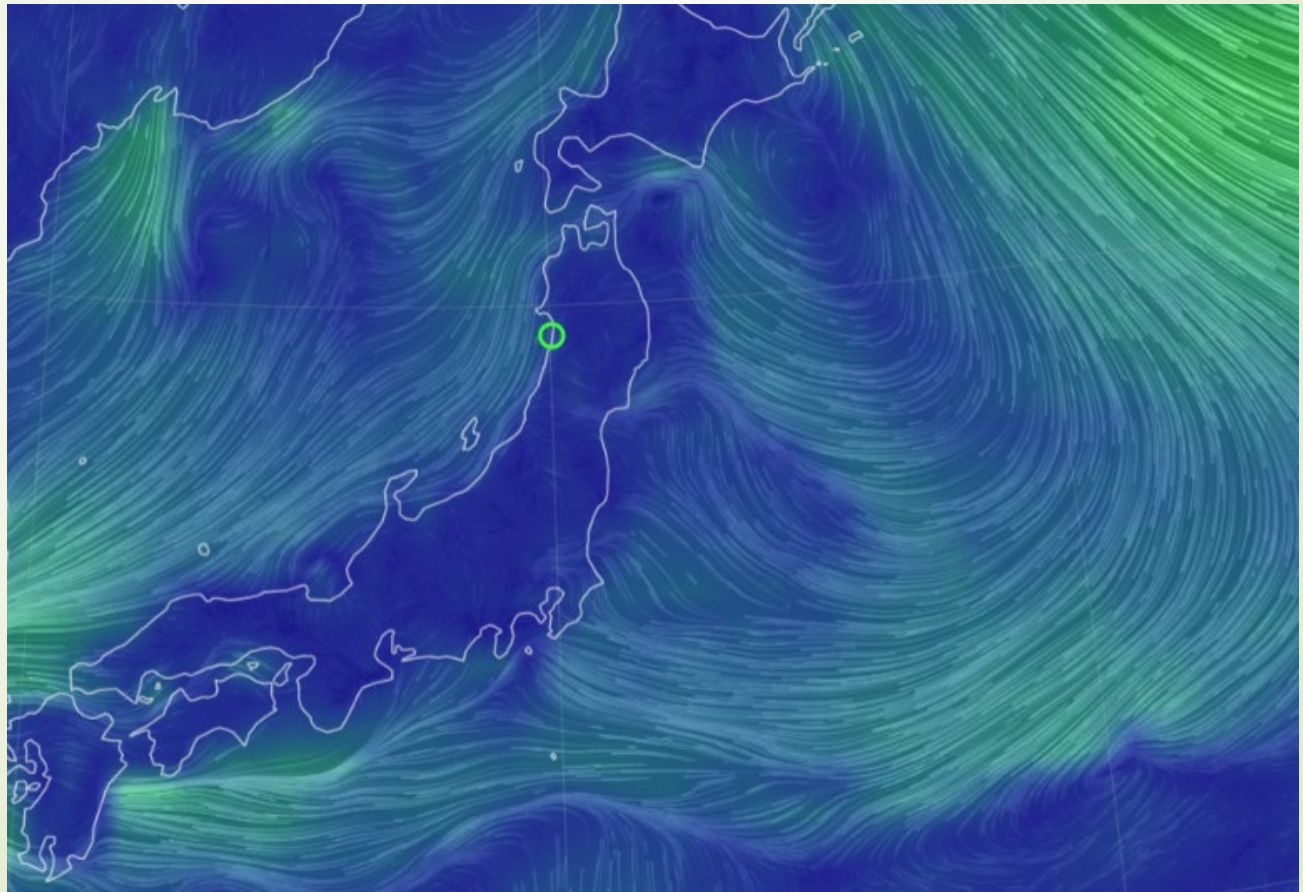
地権者さん、自治体担当者への事業説明
環境アセスメントの実施、説明会開催
地元の方への事業説明
財産区会長、漁師さん





そのほか

Earth :
地球の風、天気、海の状況



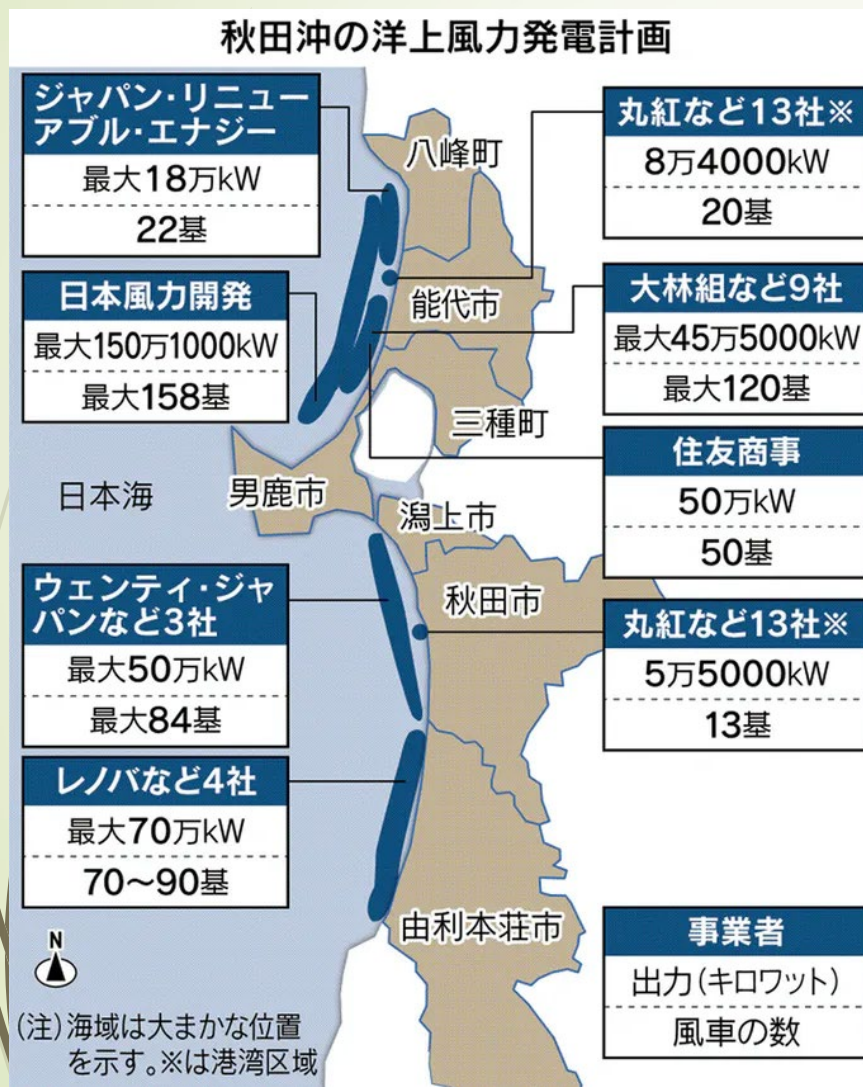
秋田市の風景 2021/9/7



秋田市の風景 2021/9/7



洋上風力発電の導入予定



2040年までに4500万kW
 原発45基分の導入を目指す

陸上風力の導入目標
 3500万kW

2021年3月現在の導入料
 443.9万kW

2050年の最終エネルギー需要

= 自然エネルギー電力の直接利用 + 間接利用 (グリーン水素・グリーン合成燃料)

1 エネルギー需要の変化

人口予測約20%減*を目安に、活動量の減少と省エネで2050年までに35%減を想定

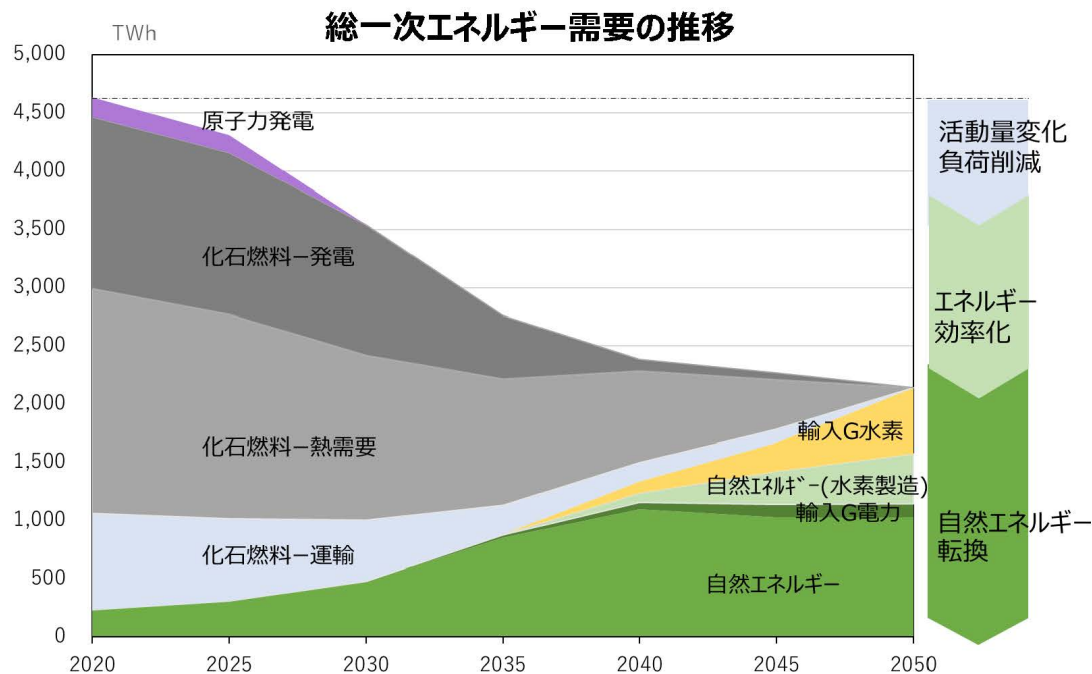
電化の促進による効率化と、自然エネルギー転換によるエネルギーシステムの効率化が実現 (モデル算定)

- ・ 家庭・業務部門は2040年でほぼ全て電化、運輸部門では、重量車以外でのEV化が進行
- ・ 産業部門では、高温熱需要以外で電化が進行

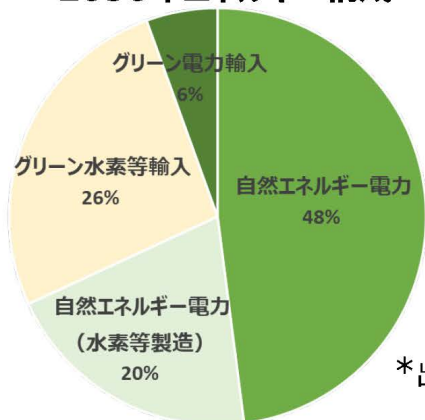
2 電力は100%自然エネルギーで供給

3 高温熱需要など、電化が難しい用途は

- ・ グリーン水素 / 合成燃料を供給
- ・ グリーン水素の約50%を輸入




2050年エネルギー構成



* 出典) 日本の将来人口推計 (国立社会保障・人口問題研究所) 2017年~2050年で20%減

地域と共生する事業にしよう

- そこに暮らす一人として納得できる事業にしたい
- 人の生活圏に近い風車は特に土地の事前調査やアセスメントを実施する
- 風車のそばに暮らす人々の目線でアセスメントを行う
- 当然ではあるが土地の安全、人の暮らしが優先される事業であること
- 地域の人が望むこと・メリットは何か一緒に考える
- 不安を聞き対処法があることをしっかり説明する
- 沢山の事業者がいても住民には区別できません。ひとつのトラブルがすべての事業に影響する



ご清聴ありがとうございました

